

平成25年度 租税教育実践例（第5学年）

登米市立中津山小学校
教諭 菅原 真理

1 題材名「税金の働きを知ろう」

2 指導にあたって

(1) 題材について

本校は、金銭教育指定校として働くことの意義に焦点をあてて指導を行っている。働くことで家族が収入を得て、生活していることは分かっている児童が多い。しかし、税金については、自分たちの生活に身近な消費税は知っているが、税金の仕組みはよく分かっていない。そこで、税金の仕組みについて興味・関心を高めさせ、自分たちの生活に結びつけていきたい。

(2) 児童の実態（男10名 女16名 計26名）

児童に税金に関するアンケート調査を実施した。その結果は下記の通りである。

1	「税金」という言葉を知っていますか。	・知っている 15名	・知らない 11名				
2	どんな「税金」を知っていますか。	・消費税 15名	・ガソリン税 2名	・本の税 1名			
3	「税金」はどんなことに使われていると思いますか。	・分からない 13名	・みんなのため 7名	・国のこと 3名	・学校の教科書 1名	・工事 1名	・交通整理 1名
4	「税金」は必要だと思いますか。	・思う 16名	・思わない 10名				
5	「税金」はなぜ納めなければならないと思いますか。	・分からない 22名	・みんなの安全を守る 1名	将来の年金 1名	・大変なことになってしまうかもしれないから 2名		
6	税金について知りたいことは何ですか。	・税金の目的	・税金の意味	・税金の使い道	・税金の種類		

アンケート結果から、税金という言葉を知っている児童は半数以上いるが、そのほとんどが消費税であった。税金の使われ方については、みんなのためと答えている児童もいるが、半数の児童はよく分からないと答えている。また、税金の必要性についても必要だと思う反面、なぜ納めなければならないのかという理由は分からない児童がほとんどだった。

(3) 指導の着眼

児童の実態から、税金に興味・関心をもたせ、税金の働きについての理解を深めさせ、税金の必要性に気付かせたいと考えた。

そこで、登米法人会青年部からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで、税の必要性に気付かせると共に、正しい知識を学び、理解を深めさせる。

3 指導計画（3時間扱い）





時間	学習のねらい	主な活動内容
1	○税金について調べる。	・身の回りの税金について調べたことを伝え合う。
2 (本時)	○税金の働きについて知る。	・ゲストティーチャーを招いて租税教室を実施し、税金の使われ方や必要性を理解する。
3	○これからの税金について考える。	・租税教室で学んだことをまとめ、今後の自分たちの生活と税金について考える。





4 本時の指導

(1) ねらい

税金の働きに関心を持ち、税金の働きについて理解する。

(2) 学習の流れ

段階	学 習 活 動	学 習 の 様 子
つ か む	1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">税金の働きを知ろう。</div> 2 ゲストティーチャーを知る。	・税金についての学習を行うことを確認し、ゲストティーチャーを紹介した。 
考 え る	3 法人会青年部の方の話聞き、様々な税金について考える。 (1) 知っている税金を発表する。 ・消費税 ・国税 ・法人税 ・酒税 (2) 世界の消費税について知る。 ・日本は5% ・中国は17% ・韓国は10% ・1番高いのはスウェーデンの25% (3) 税金の種類について知る。 ・全部で約50種類もある。 ・国税、地方税などがある。 (4) 宝くじに税金がかかるか考える。 ・1億円のレプリカを見る。 ・「非課税」といい、税金はかからない。 (5) 税金を払う必要があるかどうか考え、発表する。 ・税金はいらない・・・16名 ・税金は必要・・・8名 ・微妙・・・2名	・身近な消費税について話を聞く。  ・税金の種類がたくさんあることを知る。  ・税金が必要かどうか考える。 

<p>考 え る</p>	<p>(6) ビデオ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴し、もしも税金がなかったらどうなるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんお金を払わなければなくなる。 ・道路の修理ができないし、信号機も止まるので困る。 ・ゴミ収集車と救急車にもお金がかかる。 ・学校の机やいすなどがなかったら困る。 ・道路が有料になり、こわれた道路や橋などが直せない。 ・火事を起こしたら全部自分たちで払わないといけない。 ・公園も学校もなくなってしまう。 <p>(7) 学校と税金の関わりを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の月謝が7万円になる。 ・学校の教科書や机、いすにも税金が使われている。 ・小学校を卒業まで500万円以上の税金が使われている。 <p>(8) みんなの生活のために使われている税金を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県や市町村 ・消防署や警察署 ・ゴミの処分 ・交通標識や信号 ・災害対策や除雪 ・東日本大震災の復興のため <p>(9) 国民の3大義務を知る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教育を受けさせる義務 ②勤労の義務 ③納税の義務 → 健康で豊かな生活を送れるようにするためにみんなが出し合う「会費」 <p>(10) 1億円の量と重さを体感し、高額な金額に実感をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1億円はけっこう重い。 ・10kgもある。 ・一束は1kgで、一千万円だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを視聴する。  <ul style="list-style-type: none"> ・税金の使われ方を知る。  <ul style="list-style-type: none"> ・1億円を一人一人持ち、重さを実感する。 
<p>ま と め る</p>	<p>5 税金が必要かどうかについてもう一度考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はいらない・・・0名 ・税金は必要・・・26名 <ul style="list-style-type: none"> ・税金は必要だということが分かった。 ・税金はとっても大切なものだ。 ・税金がないと大変なことになるから必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金の必要性について理解を深める。 

5 評価

税金の働きに関心を持ち、税金の働きについて理解することができたか。(発言・ワークシート)

6 振り返り（児童の感想）

- 税金は、国や地域のために納めていることやみんなのために使われていることが分かりました。
- 税金にはいろいろな種類があり、いろいろな使われ方があることが分かりました。
- 税金は、人々の安全を守り、役に立っているものだということがよく分かりました。
- 税金の種類やどうして必要なのか、どう使われているかが分かりませんでした。分かりやすく教えていただいたおかげでよく分かりました。
- 税金の種類や役割、大切さを知り、とても勉強になりました。税金は私たちのためにあるということを考えて生活したいと思います。
- DVDを見て、税金がなぜ必要か、なぜ税金があるのかを知り、すごく勉強になりました。
- 税金について、最初は どうしてあるのか、何のために使うのか分かりませんでした。でも、税金がなくなった町、世界を考えてみると大変なことになるということが分かり、とても勉強になりました。その他にも、外国の税金についてもわかったし、宝くじに税金がないのにはびっくりしました。税金の大切さを知ることができました。
- この間まで税金のことがよく分からなかったし、消費税なんかなくなってしまえばと思っていました。でも、税教室でいろいろな税金があることが分かったし、税金は国や地域の人たちなどいろいろな人の役に立っていることが分かりました。
- 税金はお金がかかってなくてもいいと思っていたけど、税金がないと教科書などが有料になったり、学校のいすや机などを自分で買わなければならなかったりする。税金はすごく大切なお金なんだと思いました。